



# 「欲しいなら買えば良い」ではなく「必要なら作れば良い」

2年間のインドでの生活で私は、本当に多くのことを学ぶことができました。それは日本にいたら気が付かないことや忙しさに紛れて忘れてしまい続けていたかもしれないことです。

現在、私たちの暮らしはとても豊かに、そして便利になりました。技術や科学の進歩により少し前までは不可能と思われていたことが今では当たり前のようにできるようになったことが、皆さまの生活の中にも多くあることと思います。

しかし、どうでしょうか。便利になった反面、自分自身で考えることや作り出すこと、人と話し合うことなど、私たちにとってとても大切なことが、昔に比べて減ってきてはいませんか。しょうか。

ある日、日本寺にある納骨堂や納経塔のくわんとうの清掃にいくと、落書きがところどころにあることに気が付きました。納骨堂などの前には門がなく、周りを誰でもが歩ける状態であったため、心ない方が落書きをしていくことがよくありました。私はこの状態をどうしようかとスタッフに相談しました。すると、彼は「それなら自分



門を手作りする作業の様子

ずロウソクを立てます。普通のロウソクはバザール(市場)に行けば買えますが、日本寺の本堂では通常のものよりかなり大きいものを使っているため、町の商店では手に入りません。そのため、日本寺ではロウソク

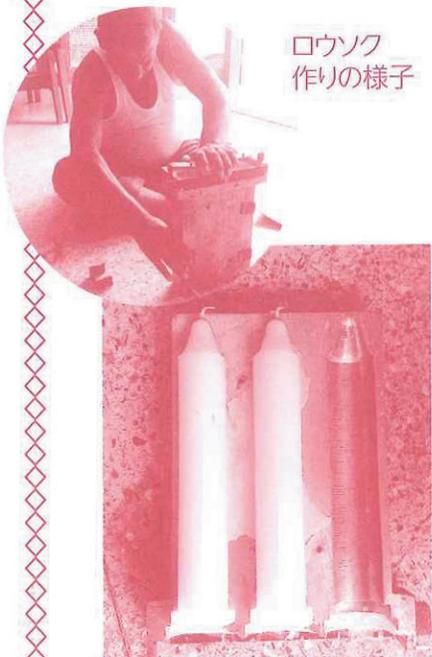
たちで門を造りましょうとあっさり返事を返してきました。そして、すぐに皆が竹を持ってきて、ああしようこつしようこつと話し合いながら立派な門を造り上げました。

も手作りしています。町の鍛冶屋かじやさんに作ってもらった型に熱したロウと油をよく混ぜて流し込み、冷やしく固めて作ります。本堂で使った燃え残った部分はまた熱し溶かし、次のロウソクを作ります。

ほかに日本ではすぐには手に入らないというものがたくさんあります。その1つが本堂で使うロウソクです。インドでもヒンドゥー教のお祈りの際などには必

このようにして私は「欲しいなら買えば良い」ではなく「必要なら作れば良い」ということを、インドの日常生活の中で改めて学びました。(続く)

ロウソク作りの様子



完成した手作りのロウソク